

団体名	八木山自主防災会		
助成金種類 事業名	まちづくり助成<1年目> 住民が取組む避難所立上げ手順確認事業		
事業概要	住民が取組む避難所開設模擬訓練 (災害発生直後の、初動期対応訓練)		
事業費総額(予算)	440,693 円	助成金交付決定額	293,000 円
主な経費内容	指導者謝礼、消耗品、避難所マット、床養生シート、ラベルライター、レンタカー、ボランティア保険料		

●実施内容

10月8日(日)9時～12時に、自主防災会が主体となり、市防災対策課・施設管理者・地域住民協力者が、八木山小学校体育館で、避難所開設模擬訓練を実施
(参加者12人、スタッフ9人)

<事業内容>

①訓練計画作成

連合自治会・防災推進ネットワーク・八木山まちづくり協議会・市防災対策課と連携し、清流の国ぎふ防災・減災センタースーパーバイザーの助言を受け、「各務原市避難所運営マニュアルに基づいた避難所開設模擬訓練計画」を作成

②避難所開設訓練先進地「愛知県田原市(防災対策課)」から訓練に必要な情報取得

③避難所開設模擬訓練事前準備作業

1)訓練当日タイムスケジュール作成

2)避難所となる小学校の施設管理者・現地連絡所長と施設配置図作成(体育館避難スペース割振り・利用可能教室指定)

3)訓練時系列毎の「担当別行動要領・チェックリスト(各種様式)」作成

4)訓練必要備品・消耗品一覧表作成および購入

④模擬訓練(スーパーバイザー立会い)で、10月8日(日)9時～12時に実施

1)避難所開設・建物安全確認(参加者によるチェックシート確認)

2)電気・水道・ガス・トイレ被害確認

3)避難所受付・避難者居住スペース設定(計画図に基づくもの)

4)避難者受付・受入れ(避難者数把握・感染症対策)、避難者名簿作成

●事業の成果

・八木山地区として、避難所開設が誰でも行える避難所開設手順書を作成できた。

・自治会自主防災規約に手順書があることを明記した。

・避難所開設における改善点に気づくことができた(避難者受付業務の改善、通信サービスの改善、ペット同行避難対策、外国語対応、トイレ対応、落下物対策、避難所管理運営委員会設置、車中泊対策、等)

・各務原市防災推進ネットワーク会員、防災対策課との「共助」「公助」による避難所初動運営の在り方を学ぶことができた。

・防災推進 NW・防災対策課との協働により、事業の実施で得られる利益を、市内全域で共有・水平展開できることが期待できる。

●団体の活動目的・目標

住民の防災意識の高揚を図り、火災その他の災害が発生した場合に住民が相互に協力し、その被害を最小限に抑えたと共に、住宅地としての住環境を高度に維持することを目的とする。

地区防災計画により、八木山地区の防災活動に必要な事項を定め、地震その他の災害による人的、物的被害の発生及びその拡大を防止するための具体的目標を定め、実行することを目標とする。

